

やぶき



令和元年
184号

議会だより

令和元年8月1日発行
第413回 6月定例会
第414回 7月臨時会



- 東京・京都・大阪へ高速バスストップ利用開始 p 2
- 本会議各委員会（質疑・討論）/条例改正 p 3
- 町政を問う（5人が一般質問） p 6
- 女団連との懇談会・表彰・人事 p12
- みんなのひろば p14

矢吹町スポ少
極真カラテ門馬道場
練習風景
(関連ページ P14)

第413回 6月定例会

高速バス停留所 8月1日供用開始 矢吹泉崎バスストップ 条例可決

定例会のあらまし

第413回6月定例会は、6月14日より6月24日までの11日間の会期で開催されました。

町長より提出の令和元年度6月補正予算等議案10議案、専決処分の承認6件、報告3件、請願3件を審議しました。また、監査委員、固定資産評価審査



待望の高速バス停留所が、8月1日より供用開始となります。矢吹インターチェンジの白河寄りに設置され、東京（新宿）、埼玉（新越谷）、京都・大阪の3路線で、全席予約制となります。高速バスネット又は発車オーライネットのホームページでご確認願います。



上下線の待合室と79台分の無料駐車場が整備されました。総事業費2億3千700万円。運営管理は、まちづくり推進課となっております。

定例会のあらまし

委員の選任に同意しました。6月17日の一般質問に5名の議員が登壇し、町政について質問しました。

更に、総務教育、産業民生の両常任委員会及び第一、第二予算特別委員会に議案が付託され、関係各課の説明を受け、審議いたしました。

6月24日に本会議を開催し、各委員会の報告を受け審議しました。令和元年度6月補正予算について、新町西道路の工事費の修正動議が提出され、審議採決の結果否決、原案についても賛成0で否決となりました。

その他については、全議案原案どおり可決決定しました。更に、議員発議の意見書2件が審議され、可決決定されました。

補正予算原案に対し全議員反対で否決!!

採決の結果、賛否の分かれた議案のみ表示しました。他議案については全員賛成により可決されました。

第413回議会（6月）定例会議案 賛否表

○は賛成、×は反対、退席の場合は退、欠席は欠、議長裁決以外は議の表示

議案名称等			議員名	富永	三村	安井	加藤	薄葉	鈴木	青山	鈴木	栗崎	熊田	吉田	藤井	角田	大木
			可否	創造	正一	敬博	宏樹	好弘	一夫	英樹	隆司	千代松	宏	伸	精七	秀明	義正
議案	第23号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	×	○	議
議案	第31号	令和元年度矢吹町一般会計補正予算（第1号）に対する修正案	否決	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	×	○	議
議案	第31号	令和元年度矢吹町一般会計補正予算（第1号）	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議

第一予算特別委員会

委員長 富永創造

副委員長 薄葉好弘

委員

安井敬博、青山英樹、

栗崎千代松、吉田伸、

角田秀明

付託案件 議案第32号

令和元年度水道事業会

計補正予算

執行部説明後質疑、討

論なし

採決の結果原案どおり
可決すべきものと決

定。



第二予算特別委員会

委員長 三村正一

副委員長 鈴木隆司

委員

藤井精七、熊田宏、

鈴木一夫、加藤宏樹

議案第31号 令和元年

度一般会計補正予算

反対討論

鈴木隆委員

新町西道路追加予算

について

様々な問題が生じて
おり、地権者との協議
も十分に行われておら
ず、町の考える方向性
と違う開発が行われる
恐れがある。事業の継
続については企業進出
の決定を待ってからの
対応で遅くないと考え
る。よって新町西道路
補正予算が含まれるの
で賛成できない。

賛成討論

鈴木（一）委員

新町西道路がポイン
トとなるが補正予算全

体を考えた場合はこの
1点のみで否決するの
は疑問がある。新町西
線の執行部説明も納得
のいくものであるので
賛成する。

採決

原案について、賛成

少数により否決

賛成委員

鈴木（一）、熊田



総務教育 常任委員会

高速バスストップ設置

条例可決

付託案件

議案第29号 矢吹泉崎

バスストップ設置条例

議案第24号 東日本大

震災による被災者に対

する町民税、固定資産

税及び国民健康保険税

の減免に関する条例の

一部を改正する条例

議案第25号 矢吹町ひ

とり親家族医療費の助

成に関する条例の一部

を改正する条例

審査の結果

議案第29号、議案第24

号、議案第25号、原案

について、全委員異議

なく可決すべきものと

決定した。

請願審査

請願第1号 令和2年

度及び復興・創生期間

後も国の『被災児童生

徒就学支援等事業』の

継続と被災者児童生徒

の十分な就学支援を求

める意見書の提出を求

める請願書

請願第2号 教職員の

長時間過密労働の解消

に向けた意見書提出を

求める請願書

請願第3号 「ふくし

ま学力調査」中止の意

見書提出を求める請願

書

請願第3号は継続調

査。その他は可決・採

択。全委員異議なく可

決。

議案第23号 職員の勤

務時間、休暇等に関す

る条例の一部を改正す

る条例

反対討論

安井委員 反対の立場

で討論します。国の法

律に基づくものであ

り、職員の健康状態を

把握しながら内部の方

でしっかりとやってい

くとのことだが、規定

や規則に明文化されな

い。職員の健康を守る

立場から反対いたしま

す。

賛成討論

鈴木（隆）委員 賛成

の立場で討論します。

国の働き方改革の指針

にのっとって内容を

しっかりと熟知した中

で検討した結果による

ものであることから賛

成いたします。

採決の結果、原案につ

いて、賛成多数により

可決すべきものと決定

した。

賛成委員

鈴木隆、栗崎、吉田、

大木

産業民生 常任委員会

付託案件名

議案第26号 災害弔慰

金の支給等に関する条

例の一部を改正する条

例

議案第27号 矢吹町国

民健康保険条例の一部

を改正する条例

議案第28号 矢吹町介

護保険条例の一部を改

正する条例

審査の結果

議案第26号、議案第27

号、議案第28号、原案

について、全委員異議

なく可決すべきものと

決定した。

第二予算特別委員会 主な質疑

加藤委員 前夜祭とフロンティア祭りの予算はいくらか。

佐藤農振課長 フロンティア祭り600万円、前夜祭100万円、合計で700万円である。

鈴木副委員長 新町西線の2、600万円は、大型ホームセンターが来るという理由で道路整備の議会承認をしたが、その後出店がないまま増額補正する理由はどういう事か。

福田建設課長 企業誘致関連道路で、現在進出企業と協議継続中、6月にも再度協議がある事で、企業進出に向けた整備が整ってきている。

鈴木副委員長 乱開発防止の為地権者会の立ち上げ、又は、企業進

出後に整備を進めればよいのではないか。当道路は生活道路としての需要もなく整備の緊急性も認められない路線であるのに補正対応の理由はなぜか。

西山係長 町財政により有利な補助事業を活用し進めるため補正対応とした。

三村委員長 工事中の開通していない道路を使用して造成工事を行っているようだが、

特定の者だけ通行を許可することは、便宜供与に当たらないのか。又、町長は将来を見据えた誘導計画に必要性、ランドデザインを示し理解を深めていくと回答したが、ランドデザインは示されたのか。

福田課長 沿線の土地所有者、権利者であれば通行は可能。グラン

ドデザインは、町が一方的に示すものとは考えておらず、地権者会との協議を重ねる事でつくられるものと感ずる。

三村委員長 それでは、町長と執行部の意見が一致していないのではないか。

福田課長 方向性を示すには地権者の意向をくむことが一番であることが問題と考える。

三村委員長 前回事業費を1億4百万円執行したと聞いたが、現在上下水道を含めて、予算をいくら使ったのか。

福田課長 当初計画では上下水道を含めて1億76百万円、道路のみは1億2千4百万円、現在は1億8、600万円、道路事業は1億4、000万円程度。

鈴木副委員長 現在、1億円以上の公費が投入されている中で、乱開発が進んでおり、地上げ等により一部のものが利益を上げている状況で、今後様々な弊害が考えられるが、町の対応はどのように考えているのか。

福田課長 地上げ等の認識はない。土地の売買と考えている。

鈴木副委員長 新町西道路の整備については多額の公金が投入されている中で、特定の者による土地売買や転売が行われていることについて町民にどのように説明するのですか。

福田課長 個人間の土地売買について規制は出来ない。



昨年のフロンティア祭りの様子

本会議

議案第31号 令和元年度一般会計補正予算
委員会報告

三村委員長より、委員会で審議採決の原案に対し、賛成少数により否決された旨の報告がされた。

薄葉議員、吉田議員より、新町西線の工事費減額と別路線へ振替える修正動議が提出された。

修正案反対討論
加藤議員

修正案は単なる予算組み替えであり、あくまで新町西道路の2、600万円は不必要であり削除すべきであるため、反対する。
富永議員

3月の修正可決の際、町民に問題の本質が伝わらなかった。今回もその危惧があるため反対する。
修正案賛成討論
吉田議員

町が誘致した企業の道路整備に予算が振り向けられることについて、町の活性化や雇用の確保に大きく寄与することが期待でき、財源も有利なものであるため賛成する。
熊田議員

新町西道路整備事業に疑問があることは同意するが、原案の中の良い部分は残し、疑問点を修正していくことが、議員の職務であると考えているため、賛成する。

原案反対討論
加藤議員

新町西道路は現時点で企業進出は決定しておらず、優先順位が高いものではない。ほかに整備が待たれる路線に予算を振り向けるべきであるため反対する。

三村議員
新町西道路は、大型ホームセンターの誘致も具体化されておら

ず、地権者会の考えも定まっていないことに加え、町から開発のブランドデザインも示されていない。又、事業費が3月議会の時より、1、600万円増額されているが、資料費の高騰では納得できないので、原案に反対する。

富永議員

5年経過し、未だ大型ホームセンターの誘致がされていない状況で新町西道路整備を急ぐ必要はなく反対する。

採決

修正案採決

賛成6名、少数により修正案否決。

賛成議員

薄葉、吉田、熊田、栗崎、鈴木一、角田

原案採決

賛成者ゼロの為、原案否決。

議案第23号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例改正

反対討論

安井議員

本案は勤務時間上限を町長が規則で定めるものであるが、過労死ラインを超える時間を定める危険性があり、条例で定めるべき観点から、反対する。

賛成討論

鈴木隆議員

本案は国の働き方改革の指針に則り、あらゆる角度から検討されたものであると認められるため賛成する。

吉田議員

本案の勤務時間上限は、国や地方自治体共通に定められるものであり、時間外労働の抑制に資するものと認められるため、賛成する。

採決

採決の結果、賛成多数により原案のとおり可決決定した。

賛成議員

富永、三村、薄葉、

全議員賛成により可決した議案

議案	第24号	東日本大震災による被災者に対する町民税、固定資産税及び国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例
議案	第25号	矢吹町ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
議案	第26号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
議案	第27号	矢吹町国民健康保険条例の一部を改正する条例
議案	第28号	矢吹町介護保険条例の一部を改正する条例
議案	第29号	矢吹泉崎バスストップ設置条例
議案	第30号	三城目地区農業集落排水施設機能強化事業第3回工事請負契約の締結について
議案	第32号	令和元年度矢吹町水道事業会計補正予算（第1号）

鈴木（一）、鈴木隆、栗崎、熊田、吉田、角田

臨時議会

第44回臨時会

令和元年7月12日開催

報告第4号 専決第7号 矢吹泉崎バスストップ駐車場整備工事請負契約の一部変更について

駐車場の防護柵を規則物利用から新設防護柵に変更するため等により、420万円を増額するもの。

報告第5号 専決第8号 矢吹泉崎バスストップ建築工事の請負契約の一部変更について

待合所整備で非常用電話移設の埋設管敷設等の費用として204万円増額するもの。

議案第33号 令和元年度矢吹町一般会計補正予算（第1号）

採決の結果、全議員異議なく、可決決定した。



三鷹市より石井良司新議長・粕谷稔新副議長・新人議員の8名来町



一般質問

町政を問う

質問順

①薄 葉 好 弘

質問事項

- ◆道路整備について
- ◆行政サービスについて

その他

- ◇農業振興について

②富 永 創 造

質問事項

- ◆ふるさと納税
- ◆まちづくり矢吹

その他

- ◇矢吹町まちづくり総合計画と地方創生について

③三 村 正 一

質問事項

- ◆道の駅事業について
- ◆新町西側開発について

その他

- ◇専決執行と随意契約の適法性について

④安 井 敬 博

質問事項

- ◆新町西線および周辺の開発について

その他

- ◇臨時・非常勤職員の任用について
- ◇社会教育施設である図書館と公民館の運営

⑤青 山 英 樹

質問事項

- ◆新町西線道路と地域開発について

その他

- ◇社会情勢の影響による財政調整基金の積み増しについて
- ◇一般社団法人まちづくり矢吹



うすば よしひろ
薄葉 好弘 議員

県道の歩道整備は

答 県南建設事務所と協議している

薄葉 県道石川矢吹線の歩道拡幅工事による未整備区間約1.2kmの今後の整備の予定は、どうなっているのか。

町長 当該道路は、県の管理する一般県道でありますが、町も重要路線と認識しており、継続的に県と協議していきます。

薄葉 県道須賀川矢吹線の三神幼稚園付近の道路約280m区間の歩道を含めた改良工事はいつ頃整備されるのか。

町長 事業主体が県になりますが、スムーズな工事の推進を要請してまいります。



県道石川矢吹線の歩道未整備区間

薄葉 今年度予定されている現道舗装は、継続が3路線で、新規の7路線は確定したのか。

町長 継続の中丸、神田、小松地区に加え、新規路線として、牡丹平、八幡町、東川原、根宿、本城館、寺内、明新地区の7路線を選定しました。

証明証等のコンビニ交付は

答 順調に整備進んでいる

薄葉 マイナンバーカードを活用して、コンビニエンスストア等で今年10月から各種証明書の交付を開始する予定ですが、どの程度準備が進んでいるのか。

町長 現在、接続端末を管理する地方公共団体情報システム機構へ利用申請を行ったほか、基幹業務をシステム管理事業者に委託し、ネットワーク機器関連の調達が完了し、既存システムとの設定を進めているところで

薄葉 マイナンバーカードは、5月末までに町民の何人の方が取得されているのか。

町長 最新データの4月1日時点で1、505人の取得です。

薄葉 10月より取得できる証明書の種類と利用時間はどのようなか。

町長 住民票謄本・抄本、戸籍謄本・抄本、戸籍附票、印鑑登録証明、課税証明書が交付可能です。時間は、土日祝日を含め、午前6時30分から午後11時までが基本となります。

その他の質問
・農業振興について



町政を問う（一般質問）

ふるさと納税への取り組みは

〔答〕 前年度以上に寄付を増やしていきたい



とみなが 富永 創造 議員

富永 新制度のもとまちづくりに寄与するふるさと納税の寄付額を増やす取り組みは

町長 魅力的な返礼品の掘り起こしに取り組み前年度以上に寄付を増やしたい。

富永 目標額は。産業振興課長 2、500万円としています。

富永 地域の課題解決事業を行う地域おこし協力隊員支援を、ふるさと思いやり基金活用事業に加えるのは。

町長 まちづくりにには有効な取り組みである



と認識しており、活動事例を調査し、検討を深めます。

富永 ふるさと納税の関連記事が町ホームページにあり、写真など活用しさらに見たくなるページ作成はできないか。

町長 ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」にアクセスできるバナー広告を掲載していますが、トップページからリンクできないため、簡単にアクセスできる環境整備を検討し、写真や商品の情報を充実します。

町政を問う（一般質問）

まちづくり 矢吹の事業について

〔答〕 「全員参加で矢吹創生」を合言葉に取り組む



と意欲的なご意見が多数ありました。

富永 仕事を持ちたい参加者をテレワーカーとして受け入れる企業はこの町にあるのか。

企画総務課長 テレワークの方式には企業型と自営型があり、まちづくり矢吹では企業から仕事をいただく自営型を目指す、当初から多くの仕事を得る

町長 参加者22名へのアンケートでは「テレワークという働き方を知ることができてよかった。」「スキルを磨いてみたい。」「テレワークで働いてみたい」と思っている。もっとセミナーの開催を。」

のは難しいと思う。

富永 まちづくり矢吹は、参加者が収入を得るまでのサポート支援を無料でやれるのか、事業方針を伺います。

町長 基礎的知識やスキルの指導等を無料で実施します。また、向上心があつての収入という現実の厳しさも伝えます。

その他の質問

・人口減少の阻止に向けたまちの政策は。

道の駅 全町民のアンケート実施を

〔答〕 テスト店舗等での計画

三村 国でさえ国道4号線の拡幅について2回も民意の確認を実施している。町でも超大型の事業費を計画している。住民意思の確認をすべき。

町長 これまで9回のアンケートを調査し821名から回答を得、多くが整備を期待している。

三村 地域商社が指定管理者になることで、毎年2、800万円の指定管理料の支払いが計画されているが、こ



実験店舗の様子

れを含んで、赤字にしないということか。

産業振興課長 年間の委託契約の額として赤字にならない委託料の設定となっている。

三村 今年度より3年間、ソフト事業で6、650万円の事業が見込まれている。この事業費で1ヶ月のテスト店舗ではなく常設の直売所が設置可能である。資金の有効活用、

新しいネットワークづくり、経営の経験が積める。予算の振替えの考えは。
産業振興課長 補助金を使っているので、現段階では非常に難しい。

その他の質問
・専決執行等と随意契約の適法性について

新町西側開発 大型店舗の誘致は

〔答〕 進出の意向、6月末に協議を行う



整備中の町道新町西線

三村 企業誘致の為に優先度が高いと判断した事が実態とかけ離れているが今後どうするのか。

町長 当該エリアの魅力のアピールし、開発促進に努める。

三村 乱開発や虫食い開発防止策は。

町長 エリア全体の開発が進む事を期待し、乱開発にならないよう地権者会と歩調を合わせ有効活用協議を進める。

三村 バリケードがある工事中道路で未舗装、供用開始がされていない道路で宅地造成が行われている。農地転用は。

産業振興課長 用途区域内で原則許可できる土地であり農業委員会で許可したものである。

三村 道路が開通してから、造成が行われるよう町行政の方で指導すべきだと考えるが。

町長 事前の指導を含め、そうした動きのあることを察知できなかったことを心苦しく思っている。この後の乱開発に繋がらないよう一体的な開発に向けて努力を惜しまない。

みむら まさいち
三村 正一 議員

町政を問う（一般質問）

新町西線開発の疑問を聞く

〔答〕 進出企業との協議を進めてゆく



やすい たかひろ
安井 敬博 議員

安井 商業施設の誘致などに有利に働き、雇用増や町民の利便性向上に繋がるなどの理由で開発を進めているが、進捗はどうか。

町長 全長3百60メートルの改良工事が完了し、舗装工事を残すのみとなっており、年度内完成に向けて工事をすすめています。

安井 沿線に西日本の企業から、商業施設の進出をしたいとの意向があったとのことだが、その後どうなっているのか。

町長 企業からは計画に遅れがでているものの、進出の意向にかわりはないとの報告を受けており、6月末に協議をします。

安井 1億8千7百万という事業費をかけている道路が5年もかかっている。このことで大型店舗進出に遅れ

町政を問う（一般質問）

が出ているのか。

産業振興課長 道路の計画が遅れているため進出予定の企業が開発に取り組んでいないのではありません。

安井 進出予定の企業からは、早期完成の要望はないのか。

産業振興課長 企業からは平成30年6月以降連絡はなく、6月末に本社役員が来庁し現在の考え方について聞き取りをし、早期開発について協議をする予定です。

安井 これまでの商業施設進出のために沿線の乱開発を防ぐ手立ても必要とのことだが、道路が完成しないうちから、沿線の農地が宅地造成されているが、どういうことか。

町長 昨年度から今年度にかけて、3件の農地法第5条の転用申請がだされ、いずれも店

舗開発計画エリア外であり、宅地、駐車場敷地、店舗敷地への転用が許可されています。新町西線周辺は都市計画法において、第二種住居地域の用途指定がされており、農地区分は市街地にある区域内の農地と定義される第三種農地のため、書類に不備がなければ、転用申請は原則許可できます。

安井 問題はないとのことだが、これまで町は商業エリアを明示していないのではないのか。

産業振興課長 後ほど図面でお配りします。

その他の質問事項

- ・臨時・非常勤職員等の任用について
- ・社会教育施設である図書館と公民館の運営について



町道新町西線



開発された土地



あおやま ひでき
青山 英樹 議員

県からの進出条件は27年1月提示、 道路整備は26年度着手

青山 およそ5年、1億8千万円かけて町道「新町西線」が整備中である。大店舗進出の正式な進出計画書がなかったとのことだが、進出の具現性を保障、担保するものはなかったのか？

町長 新町西線は平成26年に着手し継続的に取り組んでいる。平成23年11月、イオンコマリが開発計画の相談に来町、平成24年11月に県に相談。県の条例で一体型の開発はできな



町道新町西線

いと示される。平成27年1月に道路があれば県条例に抵触せず進出可能と県の説明を受け「新町西線」の整備を進めた。後にイオンコマリが断念、28年8月にナフコから立地計画の相談があり、平成30年4月、仮の進出契約書が提出される。

その他の質問事項
・ 社会情勢等の影響による財政調査基金の増減について
・ 一般社団法人まちづくり矢吹について

農地転用は町所掌の事務、乱開発をどう防ぐ？

【答】 地権者会と町が一体となり協議する



青山 町道「新町西線」と地域開発に関し「乱開発がないよう指導を行う」と言うが可能か。手法はどのように行うのか。

町長 開発に先んじて農地転用されたことは誠に残念。町として把握できなかったことは

至極残念。地権者会と町が一体的な関わりを持ち協議を深める。大方は乱開発を良しとしない意思確認をしているので、今後大きな動きはないかと。虫食い状況にはならない事を確認。早急に地権者会を開催し、町が関わり開発を進める。

議会懇談会

矢吹町女性団体連絡協議会

皆様より多くの要望・意見をいただきました

と き 令和元年5月13日(月)午後7時45分～午後8時50分

ところ 文化センター小ホール

出席者 女性団体連絡協議会 41名 議員 13名

質問 子どもの安全を守る観点から通学路の安全確保が最優先と考える。

矢吹町は歩道も少ないと感じる。

街路灯が無く危険な箇所も見受けられる。

回答 善郷小付近の五差路や三神幼稚園入口付近等、特に危険と思われる箇所から優先順位をつけ、取り組んでいく予定である。

街路灯については、区長さんを通し要望がある箇所に設置するのが基本であるが、電柱が無い、電気の引き込みができない箇所については設置することが出来ない。

質問 三神幼稚園入口の件で、側溝に蓋をするだけで歩ける箇所があるが、早急に対応できないか。

回答 担当課と共に現地を調査し回答したい。



質問 旧道から矢吹神社までの道路について、道路脇の排水路が現在機能していない。その道路は街路灯が一つしかなく、暗いので、設置していただきたい。須乗本田から寺の前までの道路についても同様。

回答 今回の懇談会で、通学路整備や街路灯設置のご要望が多いことは承知した。その旨執行部に伝えるとともに、重ねて申し上げるが担当課と共に現地調査し、対処したい。

質問 学校関係で改修が必要である施設があればお聞かせ願いたい。

回答 現在、改修が必要な小学校は無い。令和12年頃になると中畑小学校及び三神小学校が改修の必要に迫られてくる。令和22年には善郷小学校も改修が必要となる。矢吹小学校は補助金の関係で47年間使用する必要がある。ただし、トイレ改装や修繕・補修等はその都度実施していく。

質問 道の駅は、当初平成31年度には完成するということだったが、令和5年に先送りされた。さらに先送りになってしまうのではと懸念しているが。

回答 国道4号整備が、現道拡幅か、バイパスかという二つの選択肢があり、場所の決定をしかねる状況となっている。国の方針が決まり次第場所を選定し、令和5年の開業を目指したい。

議会懇談会で出された質問について5月15日 13:00～ 大木義正議長、鈴木一夫委員長、藤井精七・加藤宏樹・薄葉好弘議員と都市整備課職員で現地調査を行いました。主に道路・街路灯・通学路整備の調査であります。

結果については、対応策も含め矢吹町女性団体連絡協議会に6月26日文書で伝えとともに、町執行部へ報告しました。

2つの人事案件は全議員が賛成で同意された

監査委員



佐藤 昇 一 氏

昭和18年3月30日生

矢吹町本町95番地

任期：令和元年7月1日から

令和5年6月30日までの4年間

固定資産評価審査委員



平山 雄也 氏

昭和17年8月18日生

矢吹町本町8番地

任期：令和元年7月1日から

令和4年6月30日までの3年間

福島県町村議会議長会より5名の議員が表彰されました

6月3日に開催された、福島県町村議会議長会定期総会において5名の議員が表彰されました。

この表彰は、矢吹町議会議員として永年にわたる、地域の振興発展に寄与された功績に対し、贈られたものです。

特別功労者（在籍20年以上）

角田秀明議員

栗崎千代松議員

熊田宏議員

自治功労者（在籍10年以上）

青山英樹議員

鈴木隆司議員



鈴木隆司 議員

熊田宏議員

角田秀明議員

栗崎千代松議員

青山英樹議員

みんなのひろば

負けた悔しさを糧に

遠藤 杏子さん(母)
(花咲)



門馬師範と
遠藤 稜久くん
(善郷小3年)
全日本入賞会場にて

「空手をやりたい!」との一心で、入門を決めたのは5歳の時でした。あれから4年が経ちました。昨年4月に初めて県外での大会に出場できるチャンスを頂き、いざ静岡県へ足を踏み入れました。全国区での戦いを目の当たりにした息子は、顔が青ざめ今にも心臓が飛び出しそうな姿に、親としても不安を抱き、見守るだけが精一杯でした。案の定、力を発揮できず初戦敗退となってしまいました。親共々、強い精神を知る貴重な体験となったことは過言ではありません。

門馬師範が常に指導して下さる「勝って驕らず、負けて腐らず」の言葉の意味を9歳の息子なりに理解し、負けた悔しさを糧に日々の稽古に励んで参りました。

その甲斐あって今年は一回りも成長し、「第1回全日本少年少女極真空手道選手権大会」では、3位に入賞することができました。これもひとえに、門馬師範を始め諸先生、諸先輩のご尽力の賜物と深く感謝しております。全国で矢吹町を広める機会となり嬉しく思います。

生涯スポーツと言われている昨今、令和を生きる子供たちへ、大きな大会が開催できる会場設備、指導者及び子供達への支援を地域の中でさらなるサポートをして頂けたらと切に願います。武道の町、矢吹。スポーツの町、矢吹。もっと普及して欲しいです。

次回議会のご案内

9月定例会

9月13日(金) 午前10時開会

一般質問

9月17日(火)・18日(水) 予定

- 6月議会の傍聴者は合計18名でした。
ありがとうございました。

議会傍聴はどなたでもできます。

申込みは不要です。直接役場3階議場へおいでください。
詳しくは町議会事務局にお問い合わせください。

TEL : 0248-42-2118

E-Mail : gikai@town.yabuki.fukushima.jp



矢吹町スポーツ少年団Aチーム
3年連続ティールボール全国大会へ

編集後記

朝の野菜サラダが好き。緑が深まるこの季節、私流手作り野菜サラダが食べたくなる。

朝の畑からひよこ引き抜いた新玉ねぎと赤カブを井戸水で洗う。ポウルの中はきざんだ玉ねぎとざっくり輪切りの赤カブとキュウリが主役。そこに水に戻した乾燥わかめと小さなサイコロ状にしたチーズが加わり、最後にたまねぎドレッシングとオリブ油を流し込んで出来上がり。緑の季節をパクパクと爽快に食べる。

小さな畑は食の物語をつむぐ。身近な地域資源から地方創生は始まる。
(文責 富永 創造)

議会広報編集委員会

委員長 富永 創造
副委員長 藤井 精七
委員 鈴木 隆司
委員 鈴木 一夫
委員 加藤 宏樹
委員 三村 正一

TEL : 0248-42-2118 FAX : 0248-42-2587
E-Mail : gikai@town.yabuki.fukushima.jp